

《特選》

職業差別

鳥居本中学校 3年

八木 やぎ 拓己 たくみ さん

僕が今からの人生で、一番受けるかもしれない差別が職業差別です。

僕はコロナ禍で「町中に出ないでほしい」という差別を医療従事者の方たちが受けているというニュースを見ました。僕はこのニュースを見て本当に不快でした。「何故、今頑張っている人が不十分な生活をしなければいけないのか。」僕には意味がわかりませんでした。しかし、このニュースの評価欄を見ると、僕と同じくこの意見を不快に感じた人もいましたが、「外に出ないでほしい」という意見に賛成の人も一定数いました。これを見て僕は、

このような意見を持つ人も少なからずいるのだなと思いました。

そこで、僕はいろいろ調べてみました。すると、「外に出ないでほしい」という意見には様々な意味があることを知りました。その中でも、「医療従事者の人はコロナ患者のより近くで生活しているため、かかっているのではなにか」という意見が多数見られました。僕はこの意見を見て、「確かにそうかもしれない」と思っていました。コロナ患者や感染していると思われる人と接している人はやはり感染している確率が高いのではないかと。

しかし、このことについてより深く調べていくと、「病院の感染対策について」という記事を見つけました。この記事には、なるべく接しないように一人一部屋にしたり、

マスクを二重にすることができるだけ飛沫を飛ばさないようにしたりするなど、本当に感染対策に全力を尽くしているのだなと思わざるを得ないものばかりでした。医療従事者の方たちは、本当に気を付けてお仕事をされていて、感染する確率は非常に低いそうです。今はあまり「外に出ないでほしい」などという声は減りましたが、今もなお少なからずこのような意見を言っている方はいます。

このことについて調べてみて、僕は、本当に良かったと思います。色々な意見を見て、様々な人の考え方を知り、とても良い勉強になったと思います。僕の将来の夢は看護師です。いい看護師になれるよう日々頑張っていくことと、差別しない、差別を許さないよう過ごしていきたいと思えます。

《選評》

将来の夢が看護師ということから、コロナ禍における医療従事者への差別発言に心を痛めた様子が伺えます。また、その発言に至るまでの経緯を深く調べ、人それぞれに色々な考え方があって、とをうまくまとめられています。

結びの言葉にも自らの強い目標と差別に対する固い意思を感じさせてくれるすばらしい作文です。